

～2022年 寅年は近鉄・阪神で“寅のお寺” 信貴山へ～
「信貴山寅年＜福招き＞きっぷ」を発売します！

近畿日本鉄道株式会社と阪神電気鉄道株式会社は、2022年の干支“寅のお寺”として知られている「信貴山朝護孫子寺」への参拝に便利な「信貴山寅年＜福招き＞きっぷ」（近鉄沿線発：関西発・東海発の2種類および阪神沿線発）を2月21日（月）から12月30日（金）まで発売します。

「信貴山朝護孫子寺」は、毘沙門天王が「寅年・寅の日・寅の刻」に現れ、仏教を推進していた聖徳太子に、これに反対する物部守屋討伐のための必勝法を授けたという伝承から寅にゆかりが深く、境内には全長6mの巨大な張り子の寅「世界一大福寅」など、多くの寅の像があります。

本年は、奥秘仏御開帳など寅年だけの行事も行われます。ぜひ“寅のお寺”「信貴山朝護孫子寺」へ近鉄・阪神を利用してご参拝いただければと考えています。

詳細は別紙をご覧ください。

【きっぷの内容】

I. 信貴山寅年＜福招き＞きっぷ（近鉄沿線発：関西発・東海発）

（1）関西発 [大人1, 700円、こども850円]

- ① 大阪・奈良・京都府県内の近鉄電車 1日乗り放題
- ② 高安山～信貴山門の近鉄バス、王寺駅・信貴山下駅～信貴大橋・信貴山門の奈良交通バス 往復乗車券
※近鉄バス・奈良交通バスの往路・復路の組合せは自由

（2）東海発 [発売額は発駅によって異なります。]

- ① 愛知・三重県内の近鉄発駅～高安山駅または新王寺駅の近鉄電車 往復乗車券
- ② 高安山～信貴山門の近鉄バス、王寺駅～信貴大橋・信貴山門の奈良交通バス 往復乗車券
※近鉄バス・奈良交通バスの往路・復路の組合せは自由

II. 信貴山寅年＜福招き＞きっぷ（阪神沿線発）[大人2, 350円]（大人のみ）

- ① 元町駅～大阪難波駅の阪神電車 往復乗車券（元町駅～桜川駅間で乗降可）
- ② 大阪難波駅～高安山駅の近鉄電車 往復乗車券
- ③ 高安山～信貴山門の近鉄バス 往復乗車券

I・II 共通で、信貴山朝護孫子寺「おみくじ」または「戒壇めぐり」引換券が付きます。



張り子の寅「世界一大福寅」



本堂

別紙

I. 信貴山寅年<福招き>きっぷ（近鉄沿線発：関西発・東海発）

1. 発売期間 2022年2月21日（月）から12月30日（金）まで
2. 利用期間 2022年2月21日（月）から12月30日（金）まで
3. 有効期間 発売時に指定したご乗車日当日限り有効
4. 有効区間
 - （1）関西発
 - ① 大阪・奈良・京都府県内の近鉄電車（ケーブルを含む） 1日乗り放題
 - ② 高安山～信貴山門の近鉄バス、
および王寺駅・信貴山下駅～信貴大橋・信貴山門の奈良交通バス 往復乗車券
※近鉄バス・奈良交通バスの往路・復路の組合せは自由
 - （2）東海発
 - ① 愛知・三重県内の近鉄発駅～高安山駅または新王寺駅の近鉄電車 往復乗車券
 - ② 高安山～信貴山門の近鉄バス、
および王寺駅・信貴山下駅～信貴大橋・信貴山門の奈良交通バス 往復乗車券
※近鉄バス・奈良交通バスの往路・復路の組合せは自由
5. 特典 信貴山朝護孫子寺「おみくじ」または「戒壇めぐり」引換券
6. 発売額
 - （1）関西発 大人1,700円、こども850円
 - （2）東海発 発売額は発駅によって異なります。
例）近鉄名古屋駅発 大人4,270円、こども2,140円
近鉄四日市駅発 大人3,760円、こども1,900円 など
7. 発売箇所
 - （1）関西発 近鉄主要駅、大阪・奈良・京都府県内の定期券・特急券自動発売機
 - （2）東海発 近鉄主要駅

II. 信貴山寅年<福招き>きっぷ（阪神沿線発）

1. 発売期間 2022年2月21日（月）から12月30日（金）まで
2. 利用期間 2022年2月21日（月）から12月30日（金）まで
3. 有効期間 利用期間中のご乗車日当日限り有効
4. 有効区間
 - ① 元町駅～大阪難波駅の阪神電車 往復乗車券（元町駅～桜川駅間で乗降可）
 - ② 大阪難波駅～高安山駅の近鉄電車 往復乗車券
 - ③ 高安山～信貴山門の近鉄バス 往復乗車券
5. 特典 信貴山朝護孫子寺「おみくじ」または「戒壇めぐり」引換券
6. 発売額 大人2,350円（大人のみ）
7. 発売箇所 尼崎・甲子園・御影・神戸三宮の各駅長室および大阪難波駅（東改札の特急券売場）、阪神電車サービスセンター（神戸三宮）

信貴山寅年<福招き>きっぷ
ポスタービジュアル



(参考)

■信貴山朝護孫子寺

大阪府と奈良県の県境に位置し、聖徳太子が創建したと言われているお寺です。

約1400年前、仏敵・物部守屋と対立していた太子が、物部氏討伐を祈願したところ、毘沙門天王が現れ、勝利の秘法を授けました。戦いに勝利した太子は、この地を「信ずべき貴ぶべき山」として「信貴山」と名付け、毘沙門天王像を祀りました。太子が毘沙門天王の出現を見たのが、「寅年・寅の日・寅の刻」だったことから、寅にゆかりの深い神様としても知られ、境内には多くの像があります。

また、病気だった醍醐天皇のため、勅命を受けた命蓮上人^{みょうれんしやうにん}が毘沙門天王に病気平癒の祈願をしたところ、天皇の病気はたちまちにして治りました。そのため、信貴山は、朝廟安穩・守護国土・子孫長久の祈願所として「朝護孫子寺」の勅号を賜ることとなりました。

【奥秘仏 毘沙門天王像御開帳】

毘沙門天王の奥秘仏は、12年に一度の寅年大法会期に限り開帳され、一般拝尊されます。

＜会期＞2022年 2月1日(火)～28日(月)、4月1日(金)～17日(日)
7月1日(金)～10日(日)、8月6日(土)～21日(日)
10月1日(土)～11日(火)

※会期が変更となる場合や、法要等により本堂の拝観ができないことがあります。

【アクセス】

